

# 地域学習の可能性と課題

## おがわ学の取り組み現場から

# 本日の内容

- おがわ学がめざすもの
- おがわ学を定着・発展させるために
- 児童・生徒の変容
- 地域学習の可能性と課題

# おがわ学がめざすもの

児童生徒が小川町の文化や歴史、産業等について学ぶことからはじめ、各教科と関連づけた探究的で協調的な学びへと段階的に深めていきながら、地域活動への参加や地域課題の解決に取り組む態度を養う。

## 発達段階に応じた探究学習で 地域への参画・地域の課題解決



小学校

【小学校のテーマ】  
「小川の魅力に触れる  
小川を知る」



中学校

【中学校のテーマ】  
「地域の人と交流し  
小川に参画する」



高校

【高校のテーマ】  
「小川の課題を解決する」

- 地域の課題を解決できる力の育成
- 地域に貢献できる人材

# おがわ学を定着・発展させるために

## ①身につけさせたい力の明確化

育成する資質能力の3つの柱	育成する10の力	目指す児童生徒の姿	1	2	3	4	5	6	7	8	9	10
			小学校 中学年(3, 4年)		小学校 高学年(5, 6年)		中学校			高校		
知識及び技能	知る力	観察力 	物事の細部をじっくり見ることができる	身近な対象を比較したり、関連付けたりしながら見ることができる。	対象を比較したり、関連付けたりしながら特徴を把握することができる。	対象を多面的・多角的に観察し、性質を読み取ることができる。	対象を深く観察し、その奥底にある意味や本質をよみとることができる					
		分析力 	資料等を客観的に読み解くことができる	資料等から集めた情報を共通点と相違点に分けて比較することができる。	資料等から集めた情報を視点を決めて分類することができる。	資料等から集めた情報を多角的・客観的に捉え、全体像をつかむことができる。	情報を様々な視点から客観的に捉え、複雑なものを細かく分解して、その関係性を明らかにすることができる。					
		傾聴力 	他者の意見を謙虚に聞くことができる	他者の話を聞き、相手が伝えたいことや自分が聞きたいことを理解することができる。	他者の話を聞き、相手が伝えたい意旨をとらえることができる。	必要に応じて他者の意見を聞き、相手の想いを踏まえて、自分の考えを広げたり、深めたりすることができる。	論点を明確にして、自分の考えと比較しながら聞き、聞き取った情報を吟味して、自分の考えを広げたり深めたりすることができる。					
思考力・判断力・表現力等	学ぶ力	疑問力 	物事の課題に気づくことができる	疑問に思ったことから、課題を立てることができる。	物事の問題点を、既習事項や生活経験と関連づけながら課題を立てることができる。	他者と自己との関りから、問いを見出し、自分で課題を立てることができる。	実社会や実生活と自己の関りから、問いを見出し、自分で課題を立てることができる。					
		思考力 	筋道を立て整理しながら考え進めることができる	物事を比較・整理しながら考えることができる。	課題に対して見通しをもち、物事を関連付けながら考えることができる。	課題を多面的・多角的に捉え、筋道を立てて考えることができる。	これまで学んだ見方・考え方を総合的・統合的に活用しながら、課題を多面的・多角的に捉え、考えることができる。					
		判断力 	根拠を持って、物事の取捨選択を行うことができる	既習事項や生活経験から必要な情報を取捨選択することができる。	目的や条件に応じた情報を取捨選択することができる。	目的や条件に応じ根拠や理由を明確にしながら最適な選択をすることができる。	課題の解決に必要なものを選択し、状況に応じて適用したり、複数の「知識及び技能」を組み合わせたりして、適切に活用できる。					
		表現力 	思考した結果を論理的に表現し、分かりやすく他者に伝えることができる	自分の意見や考えを他者に伝えることができる。	自分の意見や考えを相手や目的に応じてわかりやすく伝えることができる。	自分の意見や考えを相手や目的に応じて論理的にまとめ、分かりやすく伝えることができる。	自分の考えを相手や目的に応じて論理的にまとめ、様々な表現方法を用いてわかりやすく伝えることができる。					
学びに向かう力・人間性等	活かす力	行動力 	自身の考えに基づき、失敗を恐れず、粘り強く物事に取り組むことができる	課題解決に向けて、最後まで粘り強く取り組むことができる。	課題解決に向けて、失敗を恐れず最後まで粘り強く取り組むことができる。	課題解決に向けて、必要な方法について自分自身で考え、失敗から改善点を見出し粘り強く取り組むことができる。	目標の実現や課題解決に向け、積極的に踏み出し、周囲を巻き込みながら粘り強く取り組むことができる。					
		協働力 	多様な人々と、物事を円滑に進めることができる	身近な人々と協力しながら取り組むことができる。	身近な人々と考えや思いを共有し、協力しながら取り組むことができる。	多様な他者と考えや思いを共有し、協力しながら取り組むことができる。	多様な他者とそれぞれの個性や強みを生かして協力し、同じ目的のために取り組むことができる。					
		創造力 	課題解決の方法や納得解、新たな価値を作り出そうとすることができる	既習事項や生活経験をもとに、自分なりの考えをもつことができる。	物事を多角的・多面的にとり、自分なりの考えをもつことができる。	広い視野で物事を柔軟に考え、自分らしい考えを持つことができる。	広い視野で物事を柔軟に考え、工夫し、新しい価値を創り出すことができる。					

# おがき学習の発展のために

① 身

小学校  
中学年

小学校  
高学年

中学校

高等学校

育成する 資質能力 の3つの 柱	育成する 10の力	1	2	3	4	5	6	7	8	9	10
				小学校 高学年(5, 6年)		中学校					高校
知識及び技能	観察力	観察力	観察力	対象を比較したり、関連付けたりしながら特徴を把握することができる。	対象を多面的・多角的に観察し、性質を読み取ることができる。	対象を深く観察し、その奥底にある意味や本質をよみとることができる。					
	分析力	分析力	資料等から集めた情報を視点を決めて分類することができる。	資料等から集めた情報を多角的・客観的に捉え、全体像をつかむことができる。	情報を様々な視点から客観的に捉え、複雑なものを細かく分解して、その関係性を明らかにすることができる。						
	傾聴力	傾聴力	相手の意見を謙虚に聞き、相手の伝えたいことや自分が聞きたいことがわかる。	必要に応じて他者の意見を聞き、相手の想いを踏まえて、自分の考えを広げたり、深めたりすることができる。	論点を明確にして、自分の考えと比較しながら聞き、聞き取った情報を吟味して、自分の考えを広げたり深めたりすることができる。						
思考力	疑問力	疑問力	物事の問題点や生活経験や関連づけながら課題を立てることができる。	他者と自己との関りから、問いを見出し、自分で課題を立てることができる。	実社会や実生活と自己の関りから、問いを見出し、自分で課題を立てることができる。						
	思考力	思考力	筋道を立てながら物事を考え、筋道を立てながら考えることができる。	課題に対して見通しをもち、物事を関連付けながら考えることができる。	これまで学んだ見方・考え方を統合的・統合的に活用しながら、課題を多面的・多角的に捉え、考えることができる。						
	判断力	判断力	目的や条件に応じて情報を取捨選択することができる。	目的や条件に応じて根拠や理由を明確にし、最適な選択をすることができる。	課題の解決に必要なものを選択し、状況に応じて適用したり、複数の「知識及び技能」を組み合わせたりして、適切に活用できる。						
表現力	表現力	表現力	自分の意見や考えを相手や目的に応じてわかりやすく伝えることができる。	自分の意見や考えを相手や目的に応じて論理的にまとめ、わかりやすく伝えることができる。	自分の考えを相手や目的に応じて論理的にまとめ、様々な表現方法を用いてわかりやすく伝えることができる。						
	行動力	行動力	課題解決に向けて、失敗を恐れず、最後まで粘り強く取り組むことができる。	課題解決に向けて、必要な方法について自分自身で考え、失敗から改善点を見出し粘り強く取り組むことができる。	目標の実現や課題解決に向け、積極的に踏み出し、周囲を巻き込みながら粘り強く取り組むことができる。						
	協働力	協働力	身近な人々と考えや思いを共有し、協力しながら取り組むことができる。	多様な他者と考えや思いを共有し、協力しながら取り組むことができる。	多様な他者とそれぞれの個性や強みを生かして協力し、同じ目的のために取り組むことができる。						
学びに向かう力・人間性等	創造力	創造力	物事を多角的・多面的にとらえ、自分なりの考えをもつことができる。	広い視野で物事を柔軟に考え、自分らしい考えを持つことができる。	広い視野で物事を柔軟に考え、工夫し、新しい価値を創り出すことができる。						

育成する  
10の力

観察力

分析力

傾聴力

疑問力

思考力

判断力

表現力

行動力

協働力

# おがわ学を定着・発展させるために

## ②指導計画（骨子）

令和5年度 「おがわ学」骨子 中学校版(案)															
教科	学年	月	テーマ	分野	おがわ学タイトル	授業 時数	学習指導要領 (教科・大・中・小単元等)	学習活動	◇知る力 <知識・技能> 【観察力 分析力 傾 聴力】	◇学ぶ力 <思考・判断・表現> 【疑問力 思考力 判断力 表現力】	◇活かす力 <学びに向かう力 人間性> 【行動力 協働力 創造力】	参考資料 フォルダ名	ゲストティーチャー 協力依頼等	テキ スト	
1 国語	3	11月	文化資源	歴史・文化	小川町ゆかりの偉人 （【仙覚律師】）	1	いにしへの心を受け継ぐ（君待つと 万葉・古今・新古今）知識・技能（3）ア・イ 読む（1）ウ（2）イ	小川町にゆかりがあり、小川町で『万葉集註釈』を完成させた仙覚律師について学び、和歌についての理解を深める。	傾聴力	表現力			みどりが丘在住 村永 清氏		
2 社会	2	10月	町の発展と先端技術	歴史・文化	農業や諸産業の発達	1	小川町の産業 【地理的分野】 C日本の様々な地域 （2）日本の地域的特色と地域区分	江戸時代を中心として小川町の伝統産業の発達について資料を通して分析し、自然と産業との関係について学ぶ	分析力	思考力・表現力			新田館長 山本高志先生		
3 社会	2	10月	町の姿	歴史・文化	防災マップを考えよう	1	過去からの警鐘と未来に向けた社会づくり 【地理的分野】 C日本の様々な地域 （2）日本の地域的特色と地域区分	過去の自然災害を振り返ることを通して、小川町の防災について考える	観察力・分析力	思考力	創造力		防災課		
4 社会	3	9月	町の発展と先端技術	産業	「八百幸」から「ヤオコー」へ	2	ヤオコーの経営に学ぶ 【公民的分野】 私たちの暮らしと経済 （1）消費生活と市場経済	株式会社ヤオコーの経営理念や発展の歴史を通して、暮らしと経済について学ぶ。	分析力	思考力・判断力			ヤオコー 下池周子 氏		
5 社会	2	9月	町の姿	産業	小川町と全国の人口過疎・過密問題	1	日本の人口と過疎・過密問題 【公民的分野】 A私たちと現代社会 （1）私たちが生きる現代社会と文化の特色	小川町の統計と比較することを通して、日本の人口や過疎・過密問題について学習する	分析力	思考力・判断力					◎
6 社会	3	11月	町の姿	産業	まちづくりについて考えよう	1	地方自治と私たち 【公民的分野】 D私たちと国際社会の諸課題 アよりよい社会を目指して	よりよい小川町を築いていくために解決すべき課題について考える。	観察力・分析力	思考力・疑問力 判断力	創造力				
7 社会	*	9月	町の発展と先端技術	歴史・文化	江戸時代、なぜ小川は発展したのか	1	【歴史的分野】 B 近世までの日本とアジア（3）近世の日本 アの（ウ）産業の発達と町人文化 算用や交通の発達	江戸時代、小川が発展した理由について、生産・消費、流通とを関連させて考える。	分析力	思考力・判断力		R 4 榎台中			
8 社会	*	3月	町の発展と先端技術	歴史・文化	なぜ小川町に駅がつけられたのか	2	【歴史的分野】 C 近現代の日本と世界（1）近代の日本と世界 アの（エ）近代産業の発達と近代文化の形成 産業革命	小川町に駅が誕生した経緯について、資料に基づいて討論を行い、日本の近代産業の発展について学ぶ。	分析力	思考力・判断力	協働力	R 4 東中			
9 社会	*		町の発展と先端技術	歴史・文化	目指せ・おがモンマスター	1	【歴史的分野】 A 歴史との対話（2）身近な地域の歴史 イの（ア）身近な地域の歴史的特徴を考察	小川和紙の伝統や歴史を調査し、小川和紙の歴史的な特徴をふまえたこれからの和紙のあり方を提案する。	分析力	思考力・表現力	創造力	R 4 西中			
10 数学	1	1月	町の姿	産業	小川町の人口課題を数値で可視化しよう	1	資料の分析と活用 D データの活用（1）	町の人口の推移の数値を活用することを通して、小川町の現状について学ぶ	分析力	思考力・判断力					◎

# おがわ学を定着・発展させるために

## ③おがわ学テキストの作成と活用

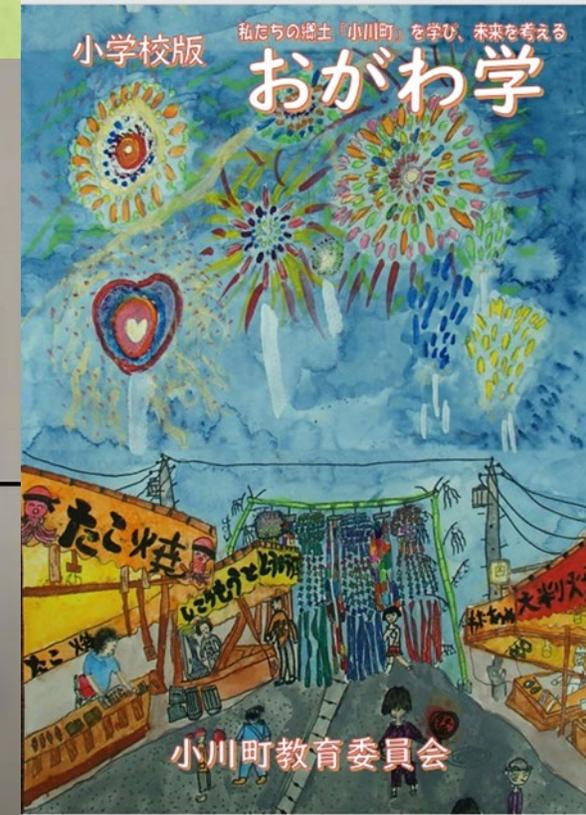
「地域の自然と文化」科 第3学年 理科「身近な自然の観察」

小学校 第3学年 理科「身近な自然の観察」

ワーク  
3

小川町の自然のことを知って、どんなことを思ったり考えたりしましたか。また、自分は自然とどう関わっていこうと思いますか。

ふりかえろう



私たちの郷土「小川町」を学び、未来を考える  
**おがわ学** <中学校版>

小川町教育委員会

# おがわ学を定着・発展させるために

## ④ ゲストティーチャーの活用

### 理科「有機農家の仕事」

▶ ゲストティーチャー 霜里農場 金子 様



# おがわ学を定着・発展させるために

## ④ ゲストティーチャーの活用

### 理科「チョウを育てよう」

#### ▶ ゲストティーチャー 内野 様

小川町には、下小川の「カタクリとオオムラサキの森」で、30年前からまもり育てられている「オオムラサキ（国蝶）」というチョウがいるのを知っていますか。

- ・ オオムラサキについて詳しく知る。
- ・ オオムラサキのさなぎの実物やオオムラサキの標本を観察する。
- ・ オオムラサキの環
- ・ 小川町の昔と今



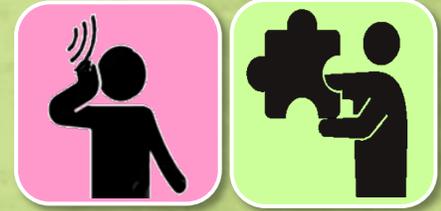
# おがわ学を定着・発展させるために

## ④ ゲストティーチャーの活用

### 社会科（公民） 「ヤオコーの経営に学ぶ」

▶ ゲストティーチャー

ヤオコー小川町ショッピングセンター様



# おがわ学を定着・発展させるために

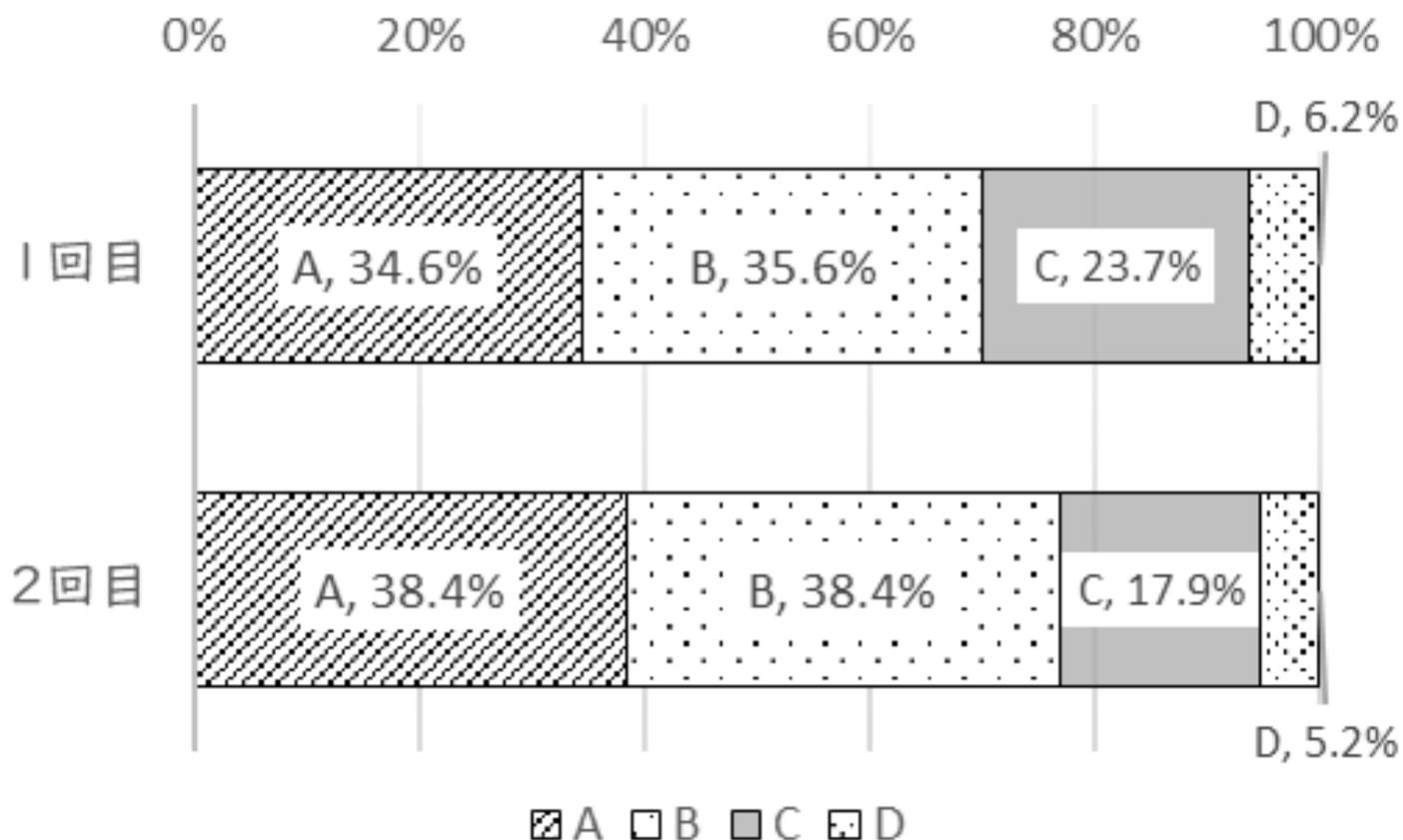
## ⑤地域の方が学ぶ「おがわ学セミナー」



# 児童・生徒の変容

## = 小学生アンケートより =

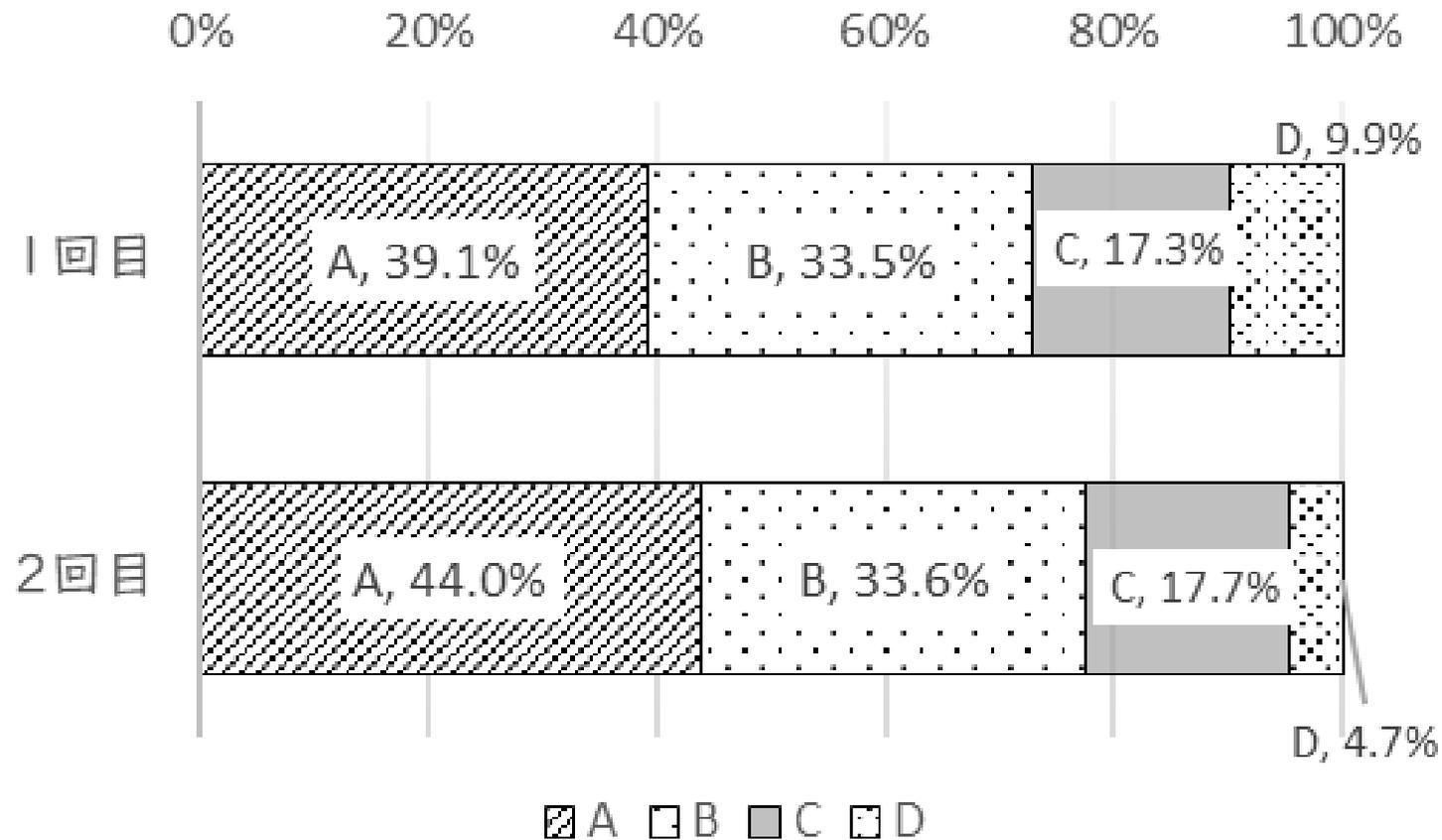
3 地域の方に小川町のことについて聞いてみたいですか



# 児童・生徒の変容

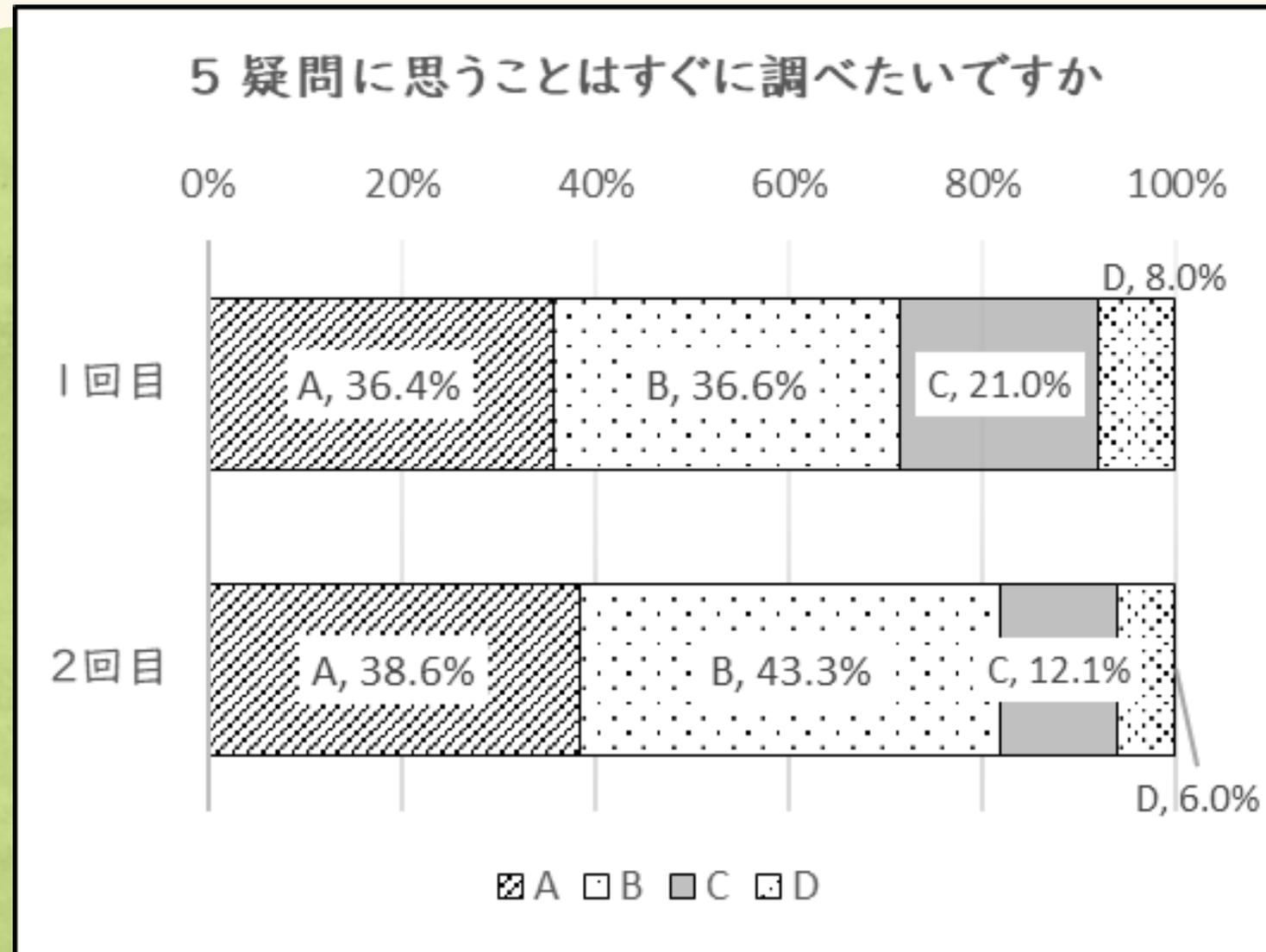
## = 小学生アンケートより =

4 小川町にずっと住みたいですか



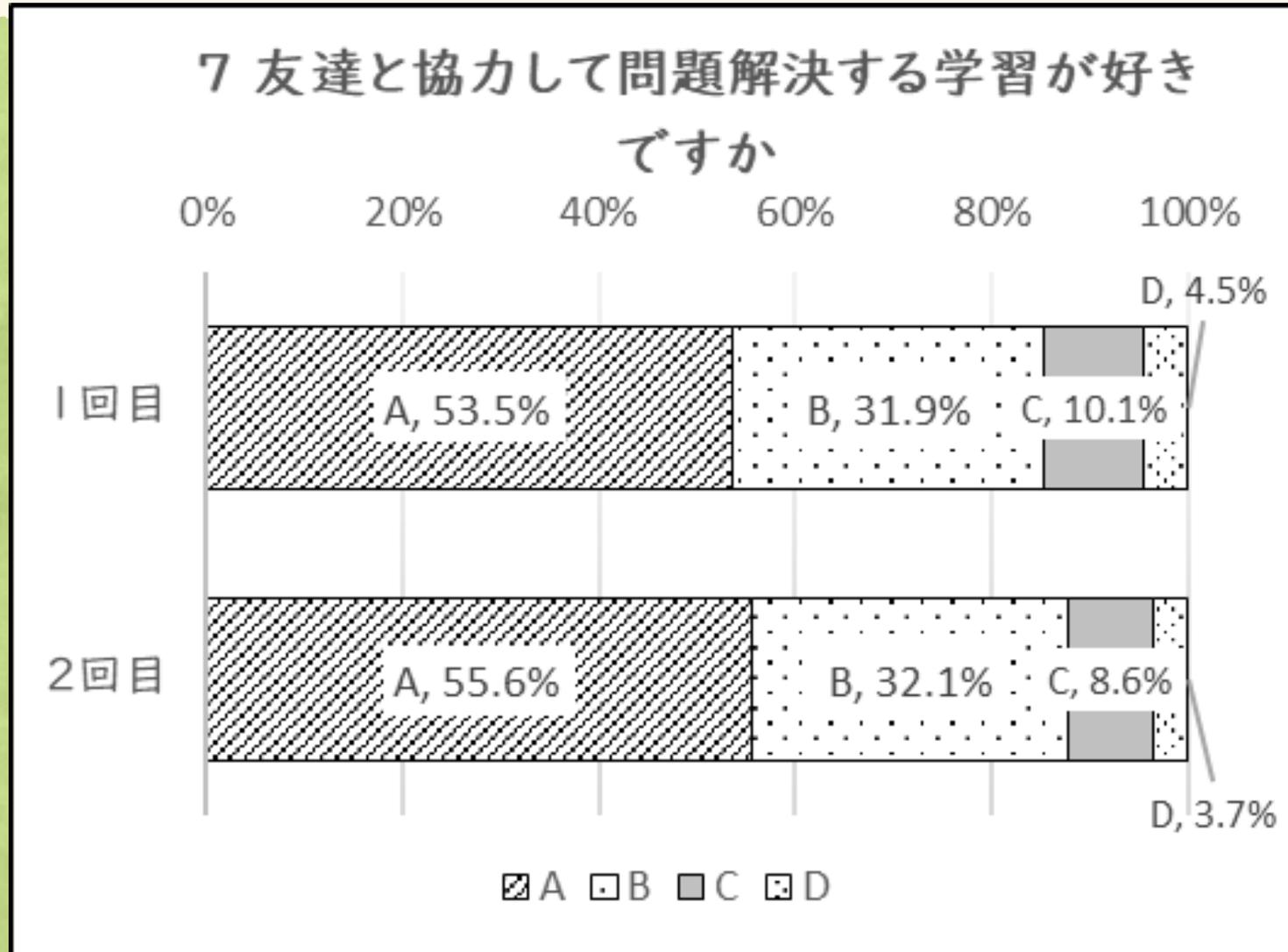
# 児童・生徒の変容

## = 小学生アンケートより =



# 児童・生徒の変容

## = 小学生アンケートより =



# 児童・生徒の変容

## =小学生アンケートより=

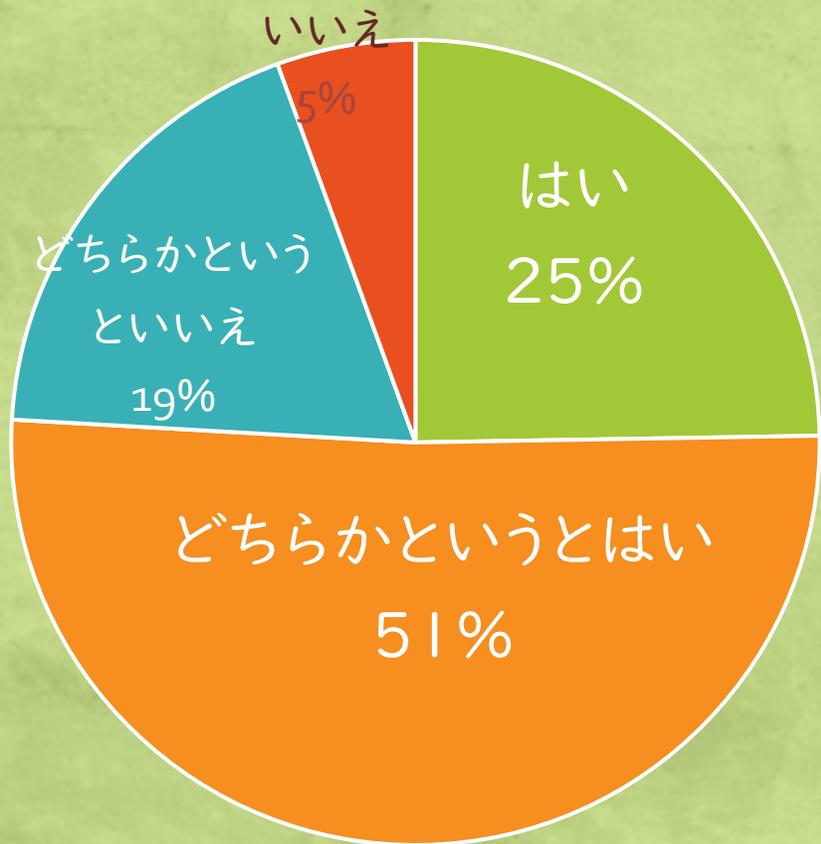
### 【児童自由記述より】

- 小川町に住んでいても知らないことがたくさんありました。地域の方からいろいろなお話を聞いて、小川町のことがもっと知りたくなりました。
- 地域の人が大切に守り、育てているものがあることがわかり、私たちにもできることを考え、行動していこうと思いました。
- 本やインターネットでは、調べることができない地域の人の思いを知ることができました。もっとたくさんの人と関わっていききたいです。
- おがわ学で勉強した場所に家の人と行ってみました。家の人いろいろな教えてあげられてうれしかったです。

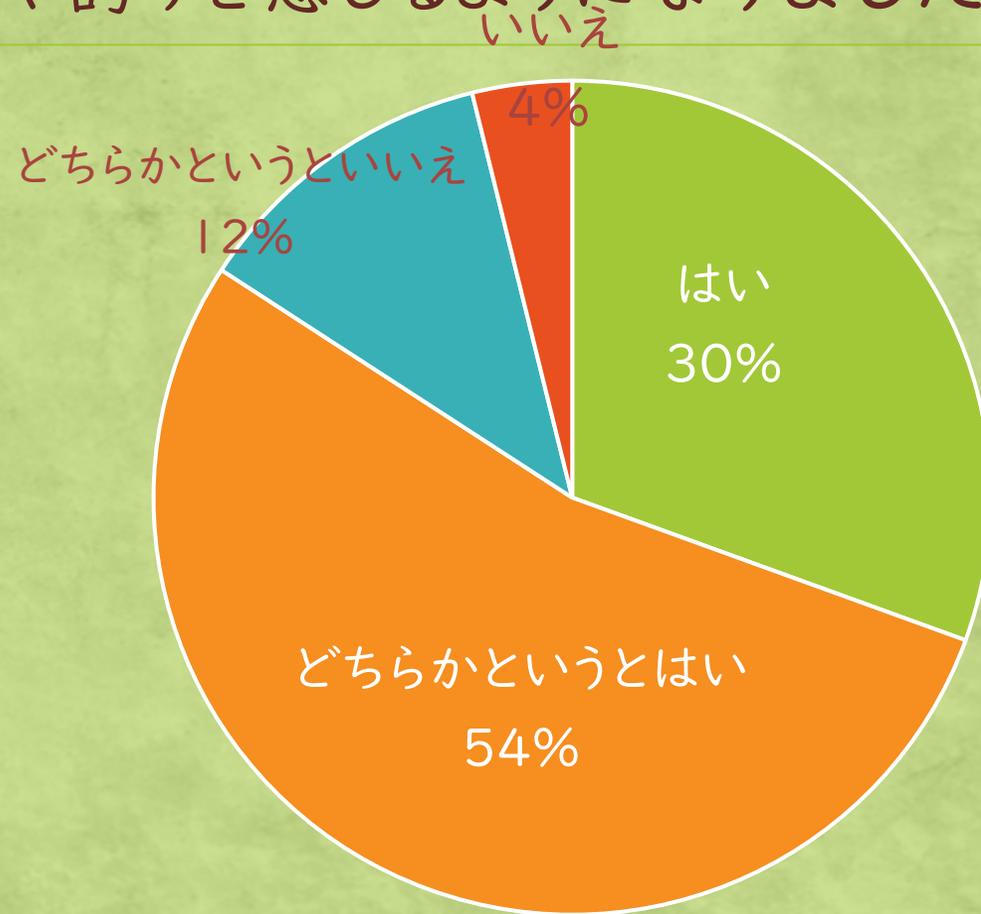
# 児童・生徒の変容

## = 中学生アンケートより =

Q1 地域の人のお話をしっかり聞き、関心や疑問点を持ったりできましたか



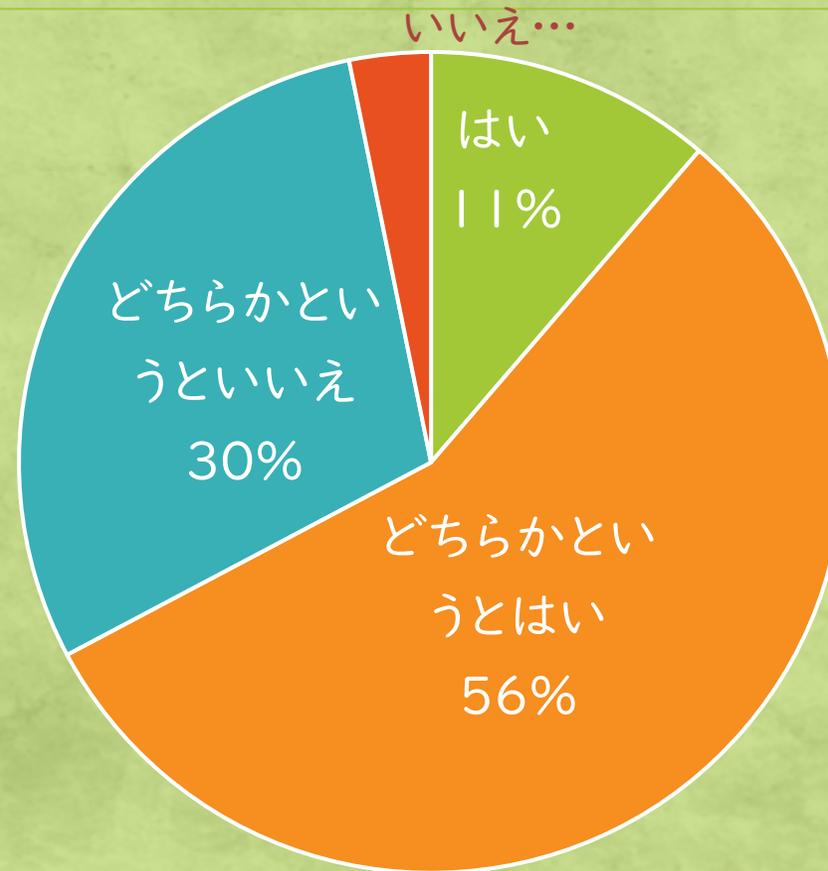
Q2 おがわ学を通じて、小川町に愛着や誇りを感じるようになりましたか



# 児童・生徒の変容

## = 中学生アンケートより =

Q3 おがわ学を通じて、問題点や解決策を考えたり、  
討論したりする力がつきましたか



# 児童・生徒の変容

## = 中学生アンケートより =

### 【生徒自由記述より】

- 自分の生まれ育った町について、深く学び、考えることができたのがよかったです。また、班員の人達と協力し、課題解決のために討論したことが楽しかったです。
- おがわ学を通して、自分の町を自分たちの手で作り上げる大切さを学ぶことができました。
- 調べたことをもっと深く調べて課題について討論し、理解を深めた方がいい。

# 児童・生徒の変容

## = 小川高校アンケートより =

★高校魅力化評価システムより+

【生徒の変容】

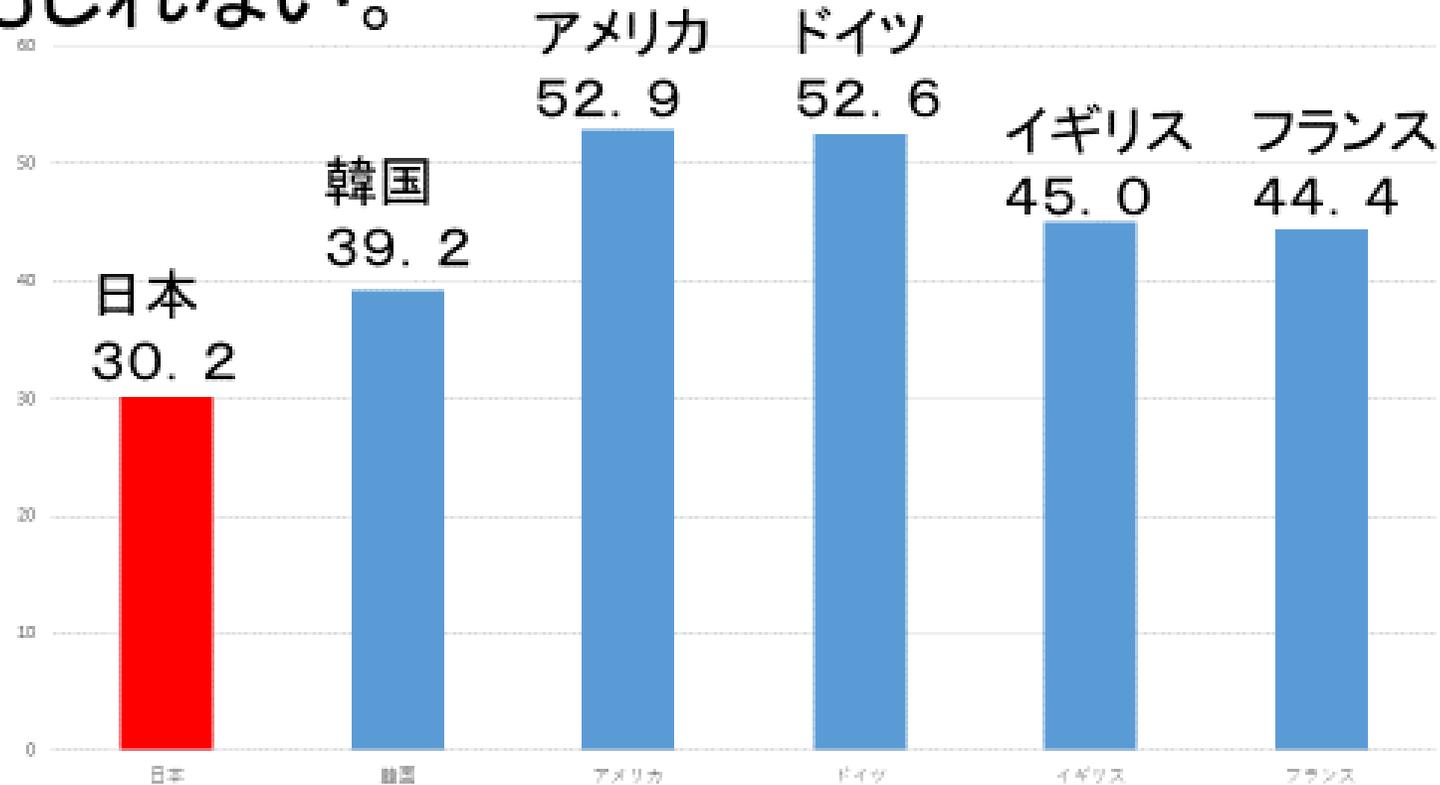
【生徒を取り巻く地域の学習環境】+

自主的に質問したり調べたりする生徒	6.3p ↑	安心・安全の土壌	28.4p ↑
疑問をもって考えたり調べたり、物事の根拠を考えたり調べたりするようになった	5.2p ↑	多様性の土壌	32.5p ↑
地域の行事やボランティアへ参加する生徒	7.8p ↑	対話の土壌	27.3p ↑
自分が関わることで社会状況を変えられると思う	16.3p ↑	地域や社会にひらかれた土壌	43.0p ↑

# 児童・生徒の変容

= 小川高校アンケートより =

私の参加により、社会現象を少し変えられる  
かもしれない。



# 地域学習の可能性と課題

## <地域学習の可能性>

- 身近な地域の教育資源（人、もの、諸資料・・・）
  - ・児童生徒にとって、具体的 直接的 体験的 直観的
- 具体からはじまり探究的な学びを通じて普遍化
  - ・「なぜ？」・・・探究的な学びに向けた内発的動機付け  
→ **自分事**
  - ・地域**で**学ぶ・・・汎用的な見方・考え方
- 各教科の学びをベースに
  - 教科固有の見方・考え方を
  - 総合的な学習・探究で地域課題の解決へ向けた学習へ

# 地域学習の可能性と課題

<地域学習の課題> **地域学習の「ノウハウ」「経験」「環境」**

- 身近な地域の教育資源が、探究的な学びになるとは限らない。体験で終わってはいけない。
- 探究的な学びを深めるために
  - ・授業のねらい、身に付けさせたい力の明確化
  - ・児童生徒が学習対象を自分事と捉えるための
    - **教材づくり**
    - 学習課題、発問の工夫

# 地域学習の可能性と課題

＜地域学習の課題＞ 地域学習の「ノウハウ」「経験」「環境」を蓄積するために

○地域学習を定着させるには・・・

- ①地域学習のねらいの明確化・共有化（地域学習を通じて子どもたちにどんな力を身につけさせるのか）
- ②地域の教育資源の掘り起こしと教材化（組織的な取り組みとして）
  - そのための仕組みづくり
  - 教材を活用するための仕組みづくり（テキスト化、共有化、ブラッシュアップ化）
- ③開発した教材の年間指導計画への位置づけ
- ④地域学習の実践交流（教員相互の学び合い）
- ⑤学校と地域をつなぐ第三者（コーディネーター）の活用

いかに労力をかけずに、教員の負担を減らしながら地域学習を教室に導入できるか

- ・地域の図書館、資料館は教材の宝庫
- ・地域の「人」「もの」などの教育資源も地域学習の宝庫

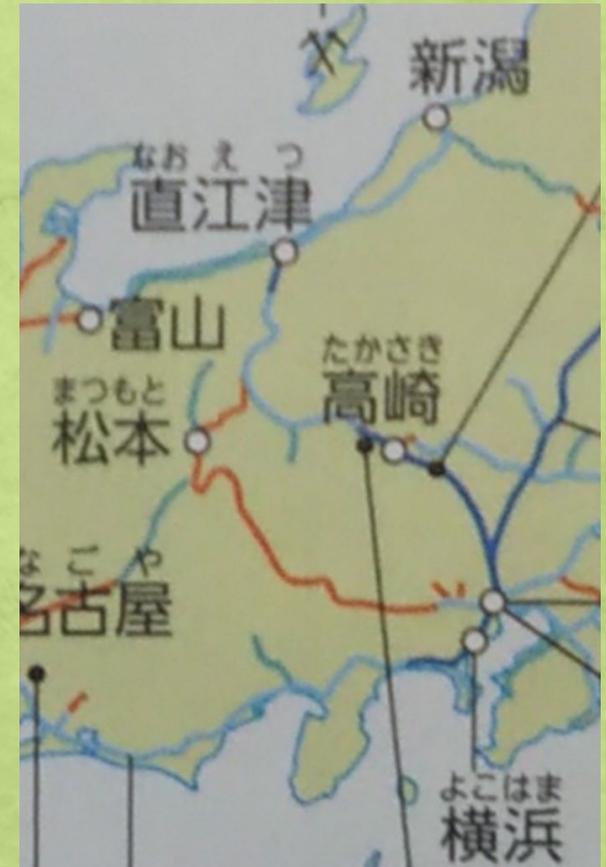


# 中学校社会科歴史的分野の事例

## 1903年：東上鉄道株式会社設立趣意書の教材化

### <東上鉄道株式会社設立趣意書(1903年)(意訳)>

東上鉄道の路線は、氷川、池袋から川越町にいたり、・・・渋川までの路線を第一期の計画とし、第二期は沼田を経て長岡につなげる。・・・166マイルで東京と長岡を結ぶ。これを信越線の226マイルと比較すると、60マイルも短縮できる。



# 中学校社会科歴史的分野の事例

## 1903年：東上鉄道株式会社設立趣意書の教材化

### <東上鉄道株式会社設立趣意書(1903年)(意訳)>

これにより、**運送時間**や**運送賃**の節約ができる。それに加え、もし将来戦争がおこったとしたら、**兵士**や**食料**、**武器**などの輸送に大いに貢献できる唯一の線路となる。



# 中学校社会科歴史的分野の事例

## 1903年：東上鉄道株式会社設立趣意書の教材化

### <東上鉄道株式会社設立趣意書（1903年）（意訳）>

最近、シベリア鉄道が開通した。これにより、日本や中国、朝鮮半島などの東アジア地域がますます混乱するだろう。特に日本海に面する新潟県北部は、交通や国防軍備の面で大きな影響を受けることになる。もし、不幸にして外国と戦争になり、敵の戦艦が来航し日本海をねらうようなことになれば、東京と長岡の地を結ぶ東上鉄道の重要性は、まことに大きいものとなる。



